

平成27年度 国立吉備青少年自然の家教育事業  
キビキビ通学合宿

## 1. 事業の目的（趣旨・ねらい）

家庭から離れた共同生活の中で、様々な生活体験活動をとおして、「生きる力」の基盤となる豊かな人間性や人間関係能力を高めるとともに、基本的な生活習慣の定着や規範意識の向上を図る。

## 2. 事業の概要

### （1）期日

- ①日程 平成28年1月17日（日）～1月23日（土）6泊7日
- ②日程 平成28年2月14日（日）～2月20日（土）6泊7日

### （2）参加者

#### ① 募集対象・人数

参加対象 吉備中央町内の小学校第3、4、5、6学年

- ①日程：上竹荘小学校・下竹荘小学校・豊野小学校・御北小学校・のびのび小学校から15人
- ②日程：大和小学校・津賀小学校・円城小学校・吉川小学校・吉備高原小学校から20人

#### ② 参加者

- ①日程：12人
- ②日程：20人

### （3）講師等

- ②日程 ボランティア 3人

### （4）企画・運営のポイント

- ① 吉備中央町内にある10校の小学校を2区域に分けて実施することで、昨年より大勢の児童を受け入れられるようにした。
- ② ②日程では当施設のボランティアを活用することで、参加者に丁寧な生活支援がサポートできるようにした。
- ③ 基本的な生活習慣の定着を図るため、学校から帰所した後、就寝までの活動時間を常に意識するようにし、消灯時間を守って学校での生活に支障がないようにした。  
健康観察や人間関係マップを作成し、毎日記録して児童の心と体の健康状態が把握できるようにした。さらに、その情報を関係職員で共有できるように翌日の朝にミーティングを設けた。

### 3. 活動の内容等

#### (1) 日程

	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
1日目 (日)								受付	開会式	はじめまして(アイ スブレイク・オリエン テーション)	散策してみよう (館内及び周辺)		夕食	キビキビ明日の 準備タイム フリータイム	入浴	就寝 準備	就寝
2日目 (月)	起床洗面 清掃朝食	登校	学校							キビキ ビ宿題 タイム		夕食	キビキビ明日の 準備タイム フリータイム	入浴	就寝 準備	就寝	
3日目 (火)	起床洗面 清掃朝食	登校	学校							キビキ ビ宿題 タイム		夕食	キビキビ明日の 準備タイム フリータイム	入浴	就寝 準備	就寝	
4日目 (水)	起床洗面 清掃朝食	登校	学校							キビキ ビ宿題 タイム		夕食(自炊)		入浴	就寝 準備	就寝	
5日目 (木)	起床洗面 清掃朝食	登校	学校							キビキ ビ宿題 タイム		夕食	キビキビ明日の 準備タイム フリータイム	入浴	就寝 準備	就寝	
6日目 (金)	起床洗面 清掃朝食	登校	学校							お楽しみ会			入浴	就寝 準備	就寝		
7日目 (土)	起床 洗面	清掃	朝のついでに 朝食	クラフト 作成	退所 準備	さよなら式											

#### (2) 活動の状況



【 ㉑日程 開会式 】



【 ㉒日程 オリエンテーション 】



【 ㉓日程 アイスブレイク 】



【 ㉔日程 アイスブレイク 】



【 ①日程 ルールづくり 】



【 ②日程 合宿中の目標決め 】



【 ①日程 洗濯 】



【 ②日程 一日の終わりの会 】



【 ①日程 登校 】



【 ②日程 清掃活動 】



【 ①日程 野外炊飯1回目 】



【 ②日程 野外炊飯1回目 】



【 ㊤日程 野外炊飯2回目 】



【 ㊦日程 野外炊飯2回目 】



【 ㊤日程 キビキビ宿題タイム 】



【 ㊦日程 フリータイム 】



【 ㊤日程 クラフト 】



【 ㊤日程 発表会 】



【 ㊤日程 閉会式 】



【 ㊤日程 集合写真 】

#### 4. 成果・課題

##### (1) 満足度

① 日程 満足：100%

② 日程 満足：100%

##### (2) 参加者の声

###### ① ①日程

<子供>

ア. 楽しかった。すべてが。早起きできたのもよかった。自炊も楽しかった。洗濯機と乾燥機のボタンを押すのが楽しかった。

イ. おふろが広くて気持ちよかった。食事がバイキングなのがうれしかった。ウーリーのぬいぐるみがかわいかった。ちゃんと6時に起きられるようになった。コマを教えてもらったのがうれしかった。年上の男の子達と過ごせたのが楽しかった。

<保護者>

ウ. 自炊をしたことが楽しかったようです。みんなで協力してロコモコを作ったことが特に印象に残ったようです。自炊をしたことが楽しかったようです。

エ. 親と離れ、寂しい時期も経験したり、友達を作る楽しさも経験したけど、いい経験だし、この経験を忘れず活かしたいです。

###### ② ②日程

<子供>

ア. TV、ゲームのない生活は最初苦しかった。でも友達ができて、楽しいことが増えてくるとTV、ゲームのない生活も楽しく、毎日がワクワクした。規則正しい生活は、最初はめんどくさい感じだったけど、だんだん慣れてきてうれしくなった。みんなで料理をしたり、掃除をしたり、みんなといたら楽しかった。今後、いろんなイベントに参加したい。他校の子と友達になれてうれしかった。また会いたい。

<保護者>

イ. 帰ってきて「おつかれさま～」と声をかけると、目に涙を浮かべながら、「キビキビ通学合宿終わっちゃった。もっといたかった。来年も行く～」と。一番楽しかったのは、お楽しみ会パート1で、プレイホールで遊んだことだそうで、いつもと違うメンバーでの登下校も楽しかったそうです。一緒に参加したお友達と違う部屋になり、部屋の中で一人だけ違う学校だったので母は大変心配でしたが、「1日目は寂しかったけど、あとは大丈夫だったよ。」とのことでした。

ウ. 「友達できたよーっ」とうれしそうに話してくれました。どれもよくなって、どれか一つ良いのを選んで言われても選べないくらい、どれもよかったと言ってました。充実していたようで何よりです。

### (3) 成果

- ① 吉備中央町内の10校の小学校を2つに分けて2回実施したことで、昨年以上の参加者を受け入れることができた。また、スタッフも担当者だけでなく所全体で事業運営に当たったことで、しっかりと参加者と関わることができた。
- ② 家庭を離れて各学校から集まった児童3年生から6年生が、基本的な生活習慣を意識しながら共同生活を送れたことで個々の成長が見られた。
- ③ テレビやゲームがない生活でも、仲間と生活をする中で自分たちで楽しいことを見つけて生活できたのは大きな成果である。
- ④ お楽しみ会の企画を6年生が中心となって企画し、実施することによって、一人一人の主体性を高めることができた。
- ⑤ ボランティアが、子供たちの登下校の指導から学習支援や生活支援などを行い、子供たちが自ら考え行動できるように支援することができた。

### (4) 今後の課題

- ① 吉備中央町内の小学校を2グループに分けて、参加を募ったが、定員に満たなかった。今後は、更なる参加者を集める工夫が必要である。
- ② 参加した子供の中には、最終日が学校行事と重なり、途中で帰宅せざるを得ない子供がいた。グループ化する際に学校行事を把握し、全日程参加できるように調整を行う必要がある。
- ③ 1月実施のA日程では、学生の試験期間と重なるため、法人ボランティア確保は難しいので、職員で無理なく対応できる勤務体制をつくる必要がある。一方で、B日程では、ボランティアが参加することができたが、十分に確保することができなかった。できるだけ多くのボランティアを確保するためにもコーディネーターと連携して、ボランティアを確保する必要がある。

担当：企画指導専門職 河本 潤